

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター つばみ		
○保護者評価実施期間		2025年 11月 1日	～ 2025年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間		2025年 11月 1日	～ 2025年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間		2025年 11月 1日	～ 2025年 11月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7	(回答数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を理解して、子どもや保護者のニーズや課題にあった専門的なアドバイスを訪問施設に伝えることができる。	保護者からの悩みを基に保育所等訪問時にアドバイスをしている	研修などで知識を深め、専門性を高めてより充実した訪問支援ができるように図る
2	ペアレントプログラム等の家族が参加できる研修会の情報なども保護者に紹介している。	ペアレントプログラムなどを主催している。市役所や他施設とも協力して参加者を募っている	福祉施設のみではなく、幼稚園等とも協力して、参加へのアピールをしていく。
3	保護者や子どもの悩みに共感して積極的に支援している	子どもが何に悩みを持っているかを分析し適切に支援できるようにアドバイスを行っている	保護者や子どもの側に立ち、分かりやすく、伝え方も工夫して受け入れやすくなるようにアドバイスを送る

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の教材、子どもの状態に応じた支援の方法など、訪問支援に関するこの情報を探保護者等に伝えることが不足している。	訪問支援では保護者との話合いより、保護者のニーズ等を受けて、施設の悩み等に答えることが多い。施設との話合いが多い	保育所等訪問での状況などを連絡帳や支援会議などで保護者に伝える
2	父母の交流会や保護者会等、保護者や兄弟で交流などの機会を設ける事が不足している。	コロナ対策から保護者会、兄弟での交流などを減らしていた。徐々に増やしてはいるが保護者のニーズに追いつけていない	運動会、夏祭りなどきょうだいで参加できるイベントを増やしたり、ペアプロ等の保護者の交流ができる研修の時間帯などを工夫してより参加しやすいようにしていく
3	保護者に対してどのように保育所等訪問支援が行われているか伝えることが難しく、保護者が分からないと感じている。	保育所等訪問支援が、施設に対して相談などから行う事が多く、保護者がその場にいないので状況が分かりにくいと感じる	保護者と一緒に施設に見学に行くなど、保護者が保育所等訪問支援がどういったものか分かりやすくする工夫が必要